

科目名	キャリアデザインA		科目ナンバリング	L-CUCA9-00. H	単位数 時間	1単位	対象 学年	1年	開講 学期	前期
			科目コード	B54017		30時間				
区分	キャリアサポート科目	必修	担当者名	馬上 達幸、石戸谷 繁、 文学部就職委員			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、1年次より将来に対するビジョンを持つための第一歩とする「ヒロガク教養講話」と講義（集中）を進めていく。□ □ 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	オリエンテーション		この授業の受け方について説明する。（4月13日11:15～）							
第2回										
第3回										
第4回										
第5回										
第6回	ヒロガク教養講話、特別講話 (計13回分)		ヒロガク教養講話（木曜日11:15～12:00）、 特別講話を聴講する（詳細日程は別紙参照）							
第7回										
第8回										
第9回										
第10回										
第11回	大学時代をどう生きるか		大学の現状と課題を理解し、学生時代に身に着けるべき事柄や学生が被害に遭うネット詐欺等の対策を会得し充実した学生生活を送る糧とする。					馬上（集中）		
第12回	人生100年時代の働き方展望		現代の多様化した働き方や直面している課題を理解し、それらを主体的に選択して今後望まれる働き方、生き方を探求できるようにする。					馬上（集中）		
第13回	「自立するとは」		私たちが「自立」する一人の人間として生きるうえで大切なことを「役割」の視点から考える。					石戸谷（集中）		
第14回	「自分らしく生きる」		（事例）ある少女の生き方から、「生きること、学ぶこと、働くこと」の意味を考える。					石戸谷（集中）		
第15回	まとめ							集中		
評価方法及び評価基準	ヒロガク教養講話の聴講・感想（40%）集中授業への参加度、レポートの作成（60%）									
課題等	ヒロガク教養講話での感想、集中授業終了後に提示されるレポート									
事前事後学修	週90分程度の時間を使い、事前事後に講師のプロフィールや所属する事業所のことなどを調べる。									
教材教科書参考書	なし。									
留意点	11回～15回は集中授業として実施する。単位修得には全日程の出席を必須とする。									

科目名	キャリアデザインB		科目ナンバリング	L-CUCA9-01.U	単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目コード	B54018		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	文学部就職委員				授業 形態	講義	オムニバス
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、自分自身の大学生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくために、社会の動きを学びながら自分の将来像を明確にする。そして自らの持つ能力を活かすキャリアデザインの形成を進めていく。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			授業の進め方について説明する。						
第2回	スタートアップガイダンス			大学生生活の過ごし方を考える動画教材「ムビケーション」						
第3回	インターンシップ講座(基礎)			インターンシップの意味と重要性						
第4回	自己分析①			自己分析の始め方						
第5回	自己分析②			性格検査を使って自分の特徴・強みを知ろう						
第6回	自己分析③			適性診断MATCHplusで向いている仕事を見つけよう						
第7回	企業研究の基礎			企業研究と業界研究とは						
第8回	企業研究発展編			企業の調べ方、企業を探る・知る						
第9回	社会人のマナー			大学生活で身につけるマナー						
第10回	インターンシップ講座(発展)			就活をスムーズに進められるインターンシップ参加について						
第11回	新聞の読み方			新聞に親しむとともに、読むためのポイントを知る						
第12回	本学で取得できる資格と留学について			資格を取ることで広がる選択肢について/留学という選択肢について考える。						
第13回	本学で取得できる資格について			資格を取ることで広がる選択肢について考える。						
第14回	就職活動の進め方①			キャリアビジョンを考える・伝える						
第15回	就職活動の進め方②			2年に向けてこれから始める就職活動						
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究(レポート)の作成、プレゼンテーションから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたか。									
課題等	授業時に提示する課題を行う。									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。(週90分以上の事後学修を行うこと)									
教材教科書参考書	適宜資料配布									
留意点	インターンシップに参加する前に履修することが望ましい。6回以上欠席の場合、単位取得不可。									

科目名	キャリアデザインC		科目ナンバリング	L-CUCA9-02. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54019		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	文学部就職委員			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 大学生のキャリア教育の一環として、働くことの意味や、社会人となるための基礎知識を講義と実習で学ぶ。講義を聴講した上で各自の希望する企業等において就業体験（インターン）をする。実習前に事前レポートを作成する。実習後、実習日誌と事後レポートを作成し、報告会で発表する。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			インターンシップまでの流れの確認と事前事後の発表						
第2回	就職活動のスタートアップ			近年の就活事情と今から始める就職活動						
第3回	インターンシップ講座			インターンシップの種類や探し方						
第4回	自己分析			性格検査受験と活用						
第5回	業界・企業研究（基礎）			適性検査と業界研究						
第6回	エントリー及びエントリーシート			エントリーシートの書き方と心得（選考・ES作成のコツ）						
第7回	業界・企業研究（発展）			業界・企業研究の始め方とポイント						
第8回	業界・企業研究（応用）			説明会・インターンシップで得られる情報と心構え（実践）						
第9回	ビジネスマナー			社会人として必要なマナー（大学生活で身につけるマナー）						
第10回	インターンシップガイダンス			就職課より提出書類や注意事項の説明						
第11回	インターンシップ事前発表			インターンシップ実習先の企業研究と志望動機・実習で身につけたいこと					7月28日予定	
第12回										
第13回	インターンシップ実習			各企業・事業所などにおいて実習					夏休み中 実習	
第14回										
第15回	インターンシップ事後報告会			インターンシップ経験に関して、意義や評価について発表する					夏休み終わり頃を 予定	
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究（レポート）の作成、プレゼンテーションから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたかがポイントである。									
課題等	インターンシップの実施と事前・事後レポートの提出									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。（週90分以上の事後学修を行うこと） 7月中に受け入れ企業のマッチングをする									
教材教科書参考書	適宜資料配布									
留意点	インターンシップ実施前に履修することが望ましい。インターンシップは夏休みに行く。最低限4日以上参加。4日未満は単位取得不可。（1dayインターンシップは不可） インターンシップに行く前に必ず就職課に申し込み書類を提出すること。提出しない場合単位の対象にならない。									

科目名	キャリアデザインD		科目ナンバリング	L-CUCA9-03. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54020		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	文学部就職委員			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 大学生のキャリア教育の一環として、働くことの意味や、社会人となるための基礎知識を講義と実習で学ぶ。講義を聴講した上で各自の希望する企業等において就業体験（インターン）をする。実習前に事前レポートを作成する。実習後、実習日誌と事後レポートを作成し、報告会で発表する。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	オリエンテーション		講義計画に関する説明・就職行事と就職情報室の説明							
第2回	企業研究・社会理解（1）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する					卒業生の講話		
第3回	企業研究・社会理解（2）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する					卒業生の講話		
第4回	企業研究・社会理解（3）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する					卒業生の講話		
第5回	企業研究・社会理解（4）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する					卒業生の講話		
第6回	企業研究・社会理解（5）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する					卒業生の講話		
第7回	企業研究・社会理解（6）		会社・企業の業態研究、社会状況など把握を通じて現代社会を理解する					卒業生の講話		
第8回	課題解決プロジェクト①		各テーマについてディスカッション、アウトプット					PBL・ディスカッション		
第9回	社会人としてのマナーと服装		就活時の服装等について（スーツの選び方・着方）							
第10回	課題解決プロジェクト②		各テーマについてディスカッション、アウトプット					PBL・ディスカッション		
第11回	自己分析		自分の考え方、価値観が分かる・職務適正テスト							
第12回	選考対策①		選考の種類と対策							
第13回	選考対策②		自己分析の活かし方(実践編)							
第14回	就職試験（SPI・公務員試験）		SPI・公務員試験について、模擬試験							
第15回	就活スタートアップガイダンス		3年生にむけた就職活動準備							
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究（レポート）の作成、プレゼンテーション、振り返りシートから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたかがポイントである。									
課題等	授業時に提示する課題を行う。振り返りシート。									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。（週90分以上の事後学修を行うこと）									
教材教科書参考書	適宜資料配布									
留意点	最終回に振り返りシートを配布する。評価に入るので必ず提出すること。 6回以上欠席の場合、単位取得不可。									

科目名	キャリアデザインE		科目ナンバリング	L-CUCA9-04. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	前期
			科目コード	B54021		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	文学部就職委員			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、自分自身の大学生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくために、社会の動きを学びながら自分の将来像を明確にする。そして自らの持つ能力を活かすキャリアデザイン形成を進めていく。□ 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題			授業内容・授業時間外の学修					備考	
第1回	オリエンテーション			本学の就職状況・就職情報室・就職課の説明						
第2回	就活スタートアップ講座			3年次の就職活動スケジュールの確認とスタートアップ					適宜ディスカッションを行う。	
第3回	インターンシップガイダンス			インターンシップ選考対策の基礎					同上	
第4回	就活基礎力講座①(自己分析①)			自己分析の目的と利用					同上	
第5回	就活基礎力講座②(自己分析②)			自己分析の活用(自分の強みを深める・広げる)					同上	
第6回	就活基礎力講座③(自己分析③)			自己分析の実践(自己PRを考える)					同上	
第7回	就活基礎力講座④(企業研究①)			気になる業界・企業を知る(就活の軸を知る)					同上	
第8回	就活実践講座①			ES・履歴書の書き方(座学)					同上	
第9回	就活基礎力講座⑤(企業研究②)			業界・企業の絞り込みのポイント					同上	
第10回	インターンシップ講座			インターンシップを最大限に活かす情報収集(参加前から参加後まで)					同上	
第11回	就職活動の身だしなみ講座			印象のいい身だしなみとスーツの選び方					同上	
第12回	就活実践講座②			模擬webテスト					同上	
第13回	就活実践講座③			企業研究・インターンシップから応募動機への繋げ方					同上	
第14回	就活実践講座④			ES・履歴書の書き方(実践)					同上	
第15回	就活準備・夏休みの過ごし方			就活に向け夏休みを有意義に過ごす					同上	
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究(レポート)の作成、プレゼンテーション、振り返りシートから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたかがポイントである。									
課題等	授業時に提示する課題を行う。振り返りシート。									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。週3時間以上の事後学修を行うこと。									
教材教科書参考書	適宜資料配布									
留意点	6回以上欠席の場合、単位取得不可。									

科目名	キャリアデザインF		科目ナンバリング	L-CUCA9-05. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	3年	開講 学期	後期
			科目コード	B54022		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	文学部就職委員			授業 形態	講義	オムニバス	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 社会において幅広い活躍の場を持つ文学部の学生が、自分自身の大学生活や職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくために、社会の動きを学びながら自分の将来像を明確にする。そして自らの持つ能力を活かすキャリアデザインの形成を進めていく。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-1に関連している。</p>									
到達目標	自らの将来について自分自身でキャリアデザインをしていくために、視野を広げ、必要な知識や技術を獲得する。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考		
第1回	オリエンテーション		授業内容の説明・評価について							
第2回	就活スタートアップ講座		3年後期からの就職活動復習					適宜ディスカッションを行う。		
第3回	就活実践講座①		企業研究(夏期インターンシップを通して)					同上		
第4回	就活実践講座②		就活の言葉遣いとマナー					同上		
第5回	就活実践講座③		読まれる選考書類のポイント					同上		
第6回	就活実践講座④		志望動機レベルアップ					同上		
第7回	メンタルヘルス		就活に関する相談、悩み、心のケアについて					同上		
第8回	就活実践講座⑤		面接対策～模擬面接会に向けて～①実践					同上		
第9回	就活実践講座⑥		面接対策～模擬面接会に向けて～②実践					同上		
第10回	模擬面接会(企業・施設・公務員等)		模擬面接の実施(参加者はスーツ着用のこと。事前に企業研究が必要)					同上		
第11回	直前期総まとめ講座①		情報収集と求人票のポイント					同上		
第12回	就職セミナーガイダンス		就職セミナーのポイント					同上		
第13回	就職活動報告会(就活祭)		文4年内定者による就職活動報告					同上		
第14回	就活解禁日・事前準備の進め方		今からでも間に合う!就活準備の進め方について					同上		
第15回	直前期総まとめ講座②		いざ本番!応募から入職までの流れとマナー					同上		
評価方法及び評価基準	授業への参加度、議論への積極的参加、課題研究(レポート)の作成、プレゼンテーション、振り返りシートから総合的に判断する。自らのキャリアデザインについて探求する姿勢が身に付いたかがポイントである。									
課題等	授業時に提示する課題を行う。振り返りシート。									
事前事後学修	授業時に提示された情報などをもとに、自ら情報を収集し、考えを深める。週3時間以上の事後学修を行うこと。									
教材教科書参考書	適宜資料配布									
留意点	6回以上欠席の場合、単位取得不可。									

科目名	教職教養C		科目ナンバリング	L-CUCA9-12. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54003		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	奥野 武志			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概 要 等	<p>【授業の主旨】</p> <p>本授業は、現在の教員採用試験で課される教職教養の試験問題を題材として、採用する側がどのような意図で出題しているのかについてグループに分かれて議論する。そして、議論を通じて気づいたことを各自が文章化することを通じて、現在の教職のあり方について考察を深めて行くことを目指す。</p> <p>【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】</p> <p>ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達 目標	<p>1) 現在の教員が身につけておくべき教養とはどのようなものか理解し、他者に説明できる。</p> <p>2) 教職教養の試験がどのような意図で課されているのか理解し、他者に説明できる。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	導入			・ 本科目のオリエンテーション				グループワーク ディスカッション		
第2回	教育原理の問題 (1)			・ 教育課程 教授と学習 学習指導				グループワーク ディスカッション		
第3回	教育原理の問題 (2)			・ 生徒指導				グループワーク ディスカッション		
第4回	教育原理の問題 (3)			・ 学校・学級 特別支援教育				グループワーク ディスカッション		
第5回	教育原理の問題 (4)			・ 人権教育				グループワーク ディスカッション		
第6回	教育原理の問題 (5)			・ 生涯学習、社会教育 安全確保 食育 情報教育				グループワーク ディスカッション		
第7回	教育原理の問題 (6)			・ 環境教育 学習評価				グループワーク ディスカッション		
第8回	学習指導要領の問題 (1)			・ 学習指導要領の変遷 各学校学習指導要領				グループワーク ディスカッション		
第9回	学習指導要領の問題 (2)			・ 道徳教育 特別活動 総合的な学習/探求の時間 外国語活動				グループワーク ディスカッション		
第10回	教育史の問題 (1)			・ 西洋教育史				グループワーク ディスカッション		
第11回	教育史の問題 (2)			・ 日本教育史				グループワーク ディスカッション		
第12回	教育心理の問題 (1)			・ 心理学の歴史				グループワーク ディスカッション		
第13回	教育心理の問題 (2)			・ 学習				グループワーク ディスカッション		
第14回	教育心理の問題 (3)			・ 乳児期の発達 身体発達 認知発達				グループワーク ディスカッション		
第15回	教育心理の問題 (4)			・ 自我の発達 親子関係の発達 社会性の発達				グループワーク ディスカッション		
評価 方法 及び 評価 基準	<p>評価項目及び評価の割合は以下の通りとする。</p> <p>・ 平常点：100% グループワークへの参加度・振り返りの充実度を評価する。</p>									
課題 等	<p>・ 教師は毎回の授業でグループ発表に対してコメントする。</p> <p>・ 振り返りはオンライン授業アプリを通じて提出する。</p>									
事前 事後 学修	<p>・ 事前学修：指定された問題を解いて疑問点をまとめておく。</p> <p>・ 事後学修：授業を通じて浮かんだ疑問について調べる。</p>									
教材 教科書 参考書	<p>・ 教科書 『教職教養の要点理解 2024年度版』時事通信出版局、2022年 (ISBN : 978-4788718203)</p> <p>『教職教養の演習問題 2024年度版』時事通信出版局、2022年 (ISBN : 978-4788718210)</p>									
留意 点	特になし									

科目名	教職教養D		科目ナンバリング	L-CUCA9-13.U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54004		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	奥野 武志			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>〔授業の主旨〕 本授業は、現在の教員採用試験で課される教職教養の試験問題を題材として、採用する側がどのような意図で出題しているのかについてグループに分かれて議論する。そして、議論を通じて気づいたことを各自が文章化することを通じて、現在の教職のあり方について考察を深めて行くことを目指す。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達目標	1) 現在の教員が身につけておくべき教養とはどのようなものか理解し、他者に説明できる。 2) 教職教養の試験がどのような意図で課されているのか理解し、他者に説明できる。									
授 業 計 画										
回	主 題		授業内容・授業時間外の学修					備 考		
第1回	導入		・本科目のオリエンテーション					グループワーク ディスカッション		
第2回	教育心理の問題 (5)		・教育評価					グループワーク ディスカッション		
第3回	教育心理の問題 (6)		・性格と適応					グループワーク ディスカッション		
第4回	教育心理の問題 (7)		・心理療法 学級集団					グループワーク ディスカッション		
第5回	教育法規の問題 (1)		・教育の基本理念 教育の目的・目標					グループワーク ディスカッション		
第6回	教育法規の問題 (2)		・日本国憲法 学校教育に関する法規					グループワーク ディスカッション		
第7回	教育法規の問題 (3)		・学校運営 学校保健・安全、学校給食 教科書・補助教材と著作権					グループワーク ディスカッション		
第8回	教育法規の問題 (4)		・いじめ・不登校・児童虐待 児童生徒の懲戒と体罰					グループワーク ディスカッション		
第9回	教育法規の問題 (5)		・教職員					グループワーク ディスカッション		
第10回	教育法規の問題 (6)		・教育委員会					グループワーク ディスカッション		
第11回	教育時事の問題 (1)		・教育改革					グループワーク ディスカッション		
第12回	教育時事の問題 (2)		・特別支援教育					グループワーク ディスカッション		
第13回	教育時事の問題 (3)		・問題行動等の調査結果 国内外の学力調査					グループワーク ディスカッション		
第14回	教育時事の問題 (4)		・重要答申等 チームとしての学校					グループワーク ディスカッション		
第15回	教育時事の問題 (5)		・教員の資質能力の向上 学校と地域の連携・協働					グループワーク ディスカッション		
評価方法及び評価基準	評価項目及び評価の割合は以下の通りとする。 ・平常点：100% グループワークへの参加度・振り返りの充実度を評価する。									
課題等	・教師は毎回の授業でグループ発表に対してコメントする。 ・振り返りはオンライン授業アプリを通じて提出する。									
事前事後学修	・事前学修：指定された問題を解いて疑問点をまとめておく。 ・事後学修：授業を通じて浮かんだ疑問について調べる。									
教材教科書参考書	・教科書 『教職教養の要点理解 2024年度版』時事通信出版局、2022年 (ISBN : 978-4788718203) 『教職教養の演習問題 2024年度版』時事通信出版局、2022年 (ISBN : 978-4788718210)									
留意点	特になし									

科目名	常識日本語 A		科目ナンバリング	L-CUCA9-20. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54007		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	鎌田 学			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 社会人として求められる語彙力、読解力を高めるための授業。前者は辞書語彙と新聞語彙を含み、後者は抽象度の高い文章の読解と資料の読解を含む。プレゼン力養成のために、参加者が順番で新聞語彙解説を行う機会を設ける。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達 目標	「日本語検定」1級、「漢字検定」準1級、「ニュース検定」2級のレベルに到達する。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	ガイダンス		授業の進め方							
第2回	辞書語彙		文学作品に親しみながら語彙を増やす							
第3回	辞書語彙②		文学作品に親しみながら語彙を増やす②							
第4回	新聞語彙－憲法と安全保障		語彙解説						プレゼンテーション	
第5回	新聞語彙－人口減少社会		語彙解説						プレゼンテーション	
第6回	新聞語彙－文化の保護と活用		語彙解説						プレゼンテーション	
第7回	新聞語彙－日本経済の行方		語彙解説						プレゼンテーション	
第8回	新聞語彙－貿易		語彙解説						プレゼンテーション	
第9回	新聞語彙－世界秩序		語彙解説						プレゼンテーション	
第10回	新聞語彙－情報社会		語彙解説						プレゼンテーション	
第11回	新聞語彙－先進医療と倫理		語彙解説						プレゼンテーション	
第12回	新聞語彙－変わる食生活		語彙解説						プレゼンテーション	
第13回	文章読解		入社試験レベルの文章を読む							
第14回	資料読解		図表を使った文章を読む							
第15回	まとめ		全体のまとめ							
評価 方法 及び 評価 基準	授業への参加度（40%）、小テスト（60%）。テストの評価は正解獲得点数によって行う。									
課題 等	隔週で小テストを行う。小テストは実施翌週に返却。									
事前 事後 学修	小テスト対策に3時間程度必要。									
教材 教科書 参考書	「でる順×分野別 漢検問題集準1級 新装版」（旺文社、本体1485円、ISBN978-4010924532）									
留意 点	内容は前年度とほぼ同じ。									

科目名	小論文演習		科目ナンバリング	L-CUCA9-22. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54009		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	鎌田 学			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 アカデミック・ライティング以外に、就職活動中に課される「論作文」について訓練する。タイプは大別して①公務員試験型、②一般企業型、③クリエイティブ型の三種があるが、どの型にも対応できるように練習する。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達 目標	幅広い領域（自然系、社会系）に関するテーマについて、的確な文章表現ができるようになること。また、日頃から「ネタ」を蓄積する習慣を身に付けること。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	ガイダンス			授業の進め方、課題のやり方について説明する						
第2回	アカデミック・ライティング			「基礎演習」で学修したことの復習					課題解決型学修	
第3回	アカデミック・ライティング②			「自然」についてのテーマを考える					課題解決型学修	
第4回	アカデミック・ライティング③			「社会」についてのテーマを考える					課題解決型学修	
第5回	公務員試験型			国の課題と地域課題について考える—高齢化社会					課題解決型学修	
第6回	公務員試験型②			国の課題と地域課題について考える—地域おこし					課題解決型学修	
第7回	公務員試験型③			国の課題と地域課題について考える—グローバル化					課題解決型学修	
第8回	公務員試験型④			国の課題と地域課題について考える—人工知能					課題解決型学修	
第9回	一般企業型			業界別にテーマを考える—メーカー					課題解決型学修	
第10回	一般企業型②			業界別にテーマを考える—商社					課題解決型学修	
第11回	一般企業型③			業界別にテーマを考える—運輸・エネルギー					課題解決型学修	
第12回	一般企業型④			業界別にテーマを考える—サービス					課題解決型学修	
第13回	クリエイティブ型			テーマの傾向について—講談社					課題解決型学修	
第14回	クリエイティブ型②			テーマの傾向について—外資系企業					課題解決型学修	
第15回	まとめ			全体のまとめ						
評価 方法 及び 評価 基準	各種課題(50%)と期末試験(50%)。後者の評価はおもに、①説得力、②独自性、③表現力によって行う。									
課題 等	授業時間以外の下調べに多くの時間と工夫が必要。									
事前 事後 学修	3時間程度必要。									
教材 教科書 参考書	適宜、資料配布。									
留意 点	グループディスカッション等も実施予定。それゆえ、ある程度、口頭での表現力も求められる。									

科目名	実践英語 C (TOEIC)		科目ナンバリング	L-CUCA9-32. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54012		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	野呂 佐枝子			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 英語能力を測る代表的な試験のうちの一つであるTOEIC®テストは、留学や就職などの際示すことができるものとしてますます重要性を増している。TOEIC®テストにおいては、限られた時間内でできるだけ正解を多く得ることが重要なので、そのための知識と準備が不可欠であり、試験の形式をよく知り、長い試験時間を乗り切るために基礎体力ならぬ基礎英語力をつける必要がある。この授業では、TOEIC®テストを受けたことのある人はもちろん、まだ受けたことのない人でも、基礎レベルの文法と語彙を確実に身に付け、TOEICテストの形式を知り、繰り返し問題を解く実践を通してスコアをあげることに邁進します。前期では初心者からスコア400程度の学習者を対象にしたテキストを、後期は500点以上を目指すテキストを用います。前期の受講者は後期も続けることをお勧めし、また後期から受講する方ももちろん歓迎します。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達 目標	<p>まずはTOEICテストの形式に慣れるため、それぞれのパートの特徴を捉えることから始め、できるだけ多くのTOEIC形式の設問を解いてみる。ユニットごとに自分の弱点や足りないものを確認し、それを補い強化する方法を自分で見つけ、それを継続して行い、スコアアップにつなげる。スコアの目標を立てて、それに到達することを目指します。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授業内容・授業時間外の学修					備考		
第1回	オリエンテーション		TOEIC®テストとはどのようなものか、その形式と内容について							
第2回	Unit 1		Travel							
第3回	Unit 1およびUnit 2		Travel & Dining Out							
第4回	Unit 2		Dining Out							
第5回	ボキャブラリー&文法 1		ボキャブラリービルディング&文法 1							
第6回	Unit 3		Daily Life							
第7回	Unit 3およびUnit 4		Daily Life & Entertainment							
第8回	Unit 4		Entertainment							
第9回	ボキャブラリー&文法 2		ボキャブラリービルディング&文法 2							
第10回	ここまでのまとめと小テスト		テキストおよびボキャブラリー&文法							
第11回	Unit 5		Purchasing							
第12回	Unit 5およびUnit 6		Purchasing & Offices							
第13回	Unit 6		Offices							
第14回	ボキャブラリー&文法 3		ボキャブラリービルディング&文法 3							
第15回	期末試験と前期のまとめ		テキストおよびボキャブラリー&文法							
評価 方法 及び 評価 基準	<p>毎回の授業の平常点（20～30%）および各種テスト（20～30%）あわせて50% 期末試験 50% 実際のTOEICテスト受験を証明するもの（受験証またはスコアのコピー）を提出した場合は加点あり。 授業への参加度、貢献度、協力度（以上平常点）と各種小テスト、および期末試験のすべてを合計して総合評価とする。</p>									
課題 等	<p>次の授業のところを予習してくることが毎回の課題です。 また、少なくとも一冊はTOEICの問題集を手に入れて自分でやってみること。</p>									
事前 事後 学修	<p>授業の予習は必須であり、予習しないで授業に参加することはできません。設問は毎回全員にあたります。授業の後は、わからないところは復習して理解し、期末試験までに不明な点をなくしておくこと。</p>									
教材 教科書 参考書	<p>Giga Booster for the TOEIC® L&R Test（『全パート・全頻出！TOEIC®L&Rテスト実践問題GIGA』）、早川幸治、番場直之、金星堂、2023年 ISBN978-4-7647-4183-6 C1082</p>									
留意 点	<p>TOEIC® TEST L&R はリスニングとリーディングの試験なので会話や作文は扱いませんが、設問の答えや音読がありますのであらかじめ単語の発音や文の読みはやってください。 高校時代のものでも使えますので、英文法の参考書を必ず用意し、わからないところを調べて理解すること。（『エバーグリーン』『フォレスト』『いちばんはじめの英文法』『ロイヤル英文法』など） 授業中のスマートフォンの使用は原則として禁止します。詳細は初回の授業で説明しますので、必ず出席してください。</p>									

科目名	実践英語 D (TOEIC)		科目ナンバリング	L-CUCA9-33. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54013		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	野呂 佐枝子			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	〔授業の主旨〕									
	英語能力を測る代表的な試験のうちの一つであるTOEIC®テストは、留学や就職などの際示することができるものとしてますます重要性を増している。TOEIC®テストにおいては、限られた時間内でできるだけ正解を多く得ることが重要なので、そのための知識と準備が不可欠であり、試験の形式をよく知り、長い試験時間を乗り切るために基礎体力ならぬ基礎英語力をつける必要がある。この授業では、TOEIC®テストを受けたことのある人はもちろん、まだ受けたことのない人でも、基礎レベルの文法と語彙を確実に身に付け、TOEICテストの形式を知り、繰り返し問題を解く実践を通してスコアをあげることに邁進します。前期では初心者からスコア400程度の学習者を対象にしたテキストを、後期は500点以上を目指すテキストを用います。前期の受講者は後期も続けることをお勧めし、また後期から受講する方ももちろん歓迎します。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。									
到達目標	まずはTOEICテストの形式に慣れるため、それぞれのパートの特徴を捉えることから始め、できるだけ多くのTOEIC形式の設問を解いてみる。ユニットごとに自分の弱点や足りないものを確認し、それを補い強化する方法を自分で見つけ、それを継続して行い、スコアアップにつなげる。スコアの目標を立てて、それに到達することを目指します。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修					備 考	
第1回	オリエンテーション			TOEIC®テストとはどのようなものか、その形式と内容について						
第2回	Unit 1			Listening Section						
第3回	Unit 1およびUnit 2			Listening Section & Reading Section						
第4回	Unit 2			Reading Section						
第5回	ボキャブラリー&文法 1			ボキャブラリービルディング&文法 1						
第6回	Unit 3			Listening Section						
第7回	Unit 3およびUnit 4			Listening Section & Reading Section						
第8回	Unit 4			Reading Section						
第9回	ボキャブラリー&文法 2			ボキャブラリービルディング&文法 2						
第10回	ここまでのまとめと小テスト			テキストおよびボキャブラリー&文法						
第11回	Unit 5			Listening Section						
第12回	Unit 5およびUnit 6			Listening Section & Reading Section						
第13回	Unit 6			Reading Section						
第14回	ボキャブラリー&文法 3			ボキャブラリービルディング&文法 3						
第15回	期末試験と前期のまとめ			テキストおよびボキャブラリー&文法						
評価方法及び評価基準	毎回の授業の平常点 (20-30%) および各種テスト (20-30%) あわせて50% 期末試験 50% 実際のTOEICテスト受験を証明するもの (受験証またはスコアのコピー) を提出した場合は加点あり。 授業への参加度、貢献度、協力度 (以上平常点) と各種小テスト、および期末試験のすべてを合計して総合評価とする。									
課題等	次の授業のところを予習してることが毎回の課題です。 また、少なくとも一冊はTOEICの問題集を手に入れて自分でやってみること。									
事前事後学修	授業の予習は必須であり、予習しないで授業に参加することはできません。設問は毎回全員にあたります。授業の後は、わからないところは復習して理解し、期末試験までに不明な点をなくしておくこと。									
教材教科書参考書	<i>Before-After Practice for the TOEIC® L&R Test <Revised Edition></i> , (『分析型TOEICテスト演習』), Jonathan Lynch, 山本厚子, 渡辺香名子, Cengage Learning, 2018年 ISBN978-4-86312-339-7									
留意点	TOEIC® TEST L&R はリスニングとリーディングの試験なので会話や作文は扱いませんが、設問の答えや音読がありますのであらかじめ単語の発音や文の読みはやってください。 高校時代のものでも使えますので、英文法の参考書を必ず用意し、わからないところを調べて理解すること。(『エバーグリーン』『フォレスト』『いちばんはじめの英文法』『ロイヤル英文法』など) 授業中のスマートフォンの使用は原則として禁止します。詳細は初回の授業で説明しますので、必ず出席してください。									

科目名	基礎数学B (SPI)		科目ナンバリング	L-CUCA9-41. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	前期
			科目コード	B54015		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	坂井 任			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>〔授業の主旨〕 社会人基礎力として要求される算数力を確実に身につける。就職試験にも使われるSPI試験の非言語問題を通して基礎的な数的処理能力を養う。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達 目標	SPI試験の非言語問題の考え方を理解する。基礎的な計算が速く確実にできるようにする。									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	ガイダンス+お試し実力テスト		ガイダンス お試し実力テスト							
第2回	計算のおさらい		効率的な計算							
第3回	集合		集合（きほん／最大・少なくとも／複数の表）						復習テスト	
第4回	順列・組み合わせ		樹形図／順列／組み合わせ						復習テスト	
第5回	確率		確率（きほん／積の法則／和の法則／余事象）						復習テスト	
第6回	割合		割合（きほん／残りの割合／割合の増減）						復習テスト	
第7回	立式／平均／損益算		立式／平均と1あたり／損益算						復習テスト	
第8回	料金の計算／図表の読み取り／推論①		料金の計算／図表の読み取り／推論 順位（きほん）						復習テスト	
第9回	推論②		推論 順位（複数）／位置（きほん／複数）						復習テスト	
第10回	推論③		推論 内訳／正誤／整数						復習テスト	
第11回	推論④／分割／仕事算		推論 条件／分割／仕事算						復習テスト	
第12回	速さ		速さ（きほん／文章題／時刻表）						復習テスト	
第13回	モノの流れ／漸化式		モノの流れ／漸化式						復習テスト	
第14回	グラフの領域 構造的把握力検査(非言語系)		グラフの領域／構造的把握力検査(非言語系)						復習テスト	
第15回	試験解答		試験解答						この授業は最終週 に行う	
評価 方法 及び 評価 基準	授業への取り組み(45%)・前回授業内容の復習テスト(25%)・試験(30%) 試験を受けなかった場合、未履修扱いとなる。									
課題 等	復習テストは採点して返却し、解答を配布する。 試験の答えは採点して返却する。									
事前 事後 学修	各回毎に授業時間内にできなかった教科書の問題を自習しておくこと。 復習テストで、できなかった問題は復習すること。									
教材 教科書 参考書	『ひとりで学べるSPI【完全】予想問題集 25年度版』高橋書店（本体1,400円＋税）ISBN 9784471421380 ※ 発行年度を間違えないこと									
留意 点	復習をきちんと理解できないところを残さないようにすること。ほぼ毎回「前回授業内容の復習テスト」を行う。 15週目(今年度は7月28日)に試験を行い、最終回に上記第15回の内容を行う予定である。									

科目名	基礎数学C(数学検定)		科目ナンバリング	L-CUCA9-42. U	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	B54016		30時間				
区分	キャリアサポート科目	選択	担当者名	坂井 任			授業 形態	講義	単独	
授業 の 概要 等	<p>[授業の主旨]</p> <p>数学検定3級の問題を通じて、社会人基礎力として要求されるレベルの数学に再チャレンジする。</p> <p>[ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項]</p> <p>ディプロマポリシーの2に関連し、カリキュラムポリシーの2-2に関連している。</p>									
到達 目標	<p>数学検定試験3級(中3レベル)の数学の力が身に付く。</p>									
授 業 計 画										
回	主 題		授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	ガイダンス+お試し実力テスト		ガイダンス お試し実力テスト							
第2回	数の計算		累乗を含む四則演算・分数と小数・平方根							
第3回	式の計算		1次式の計算・単項式の乗法と除法						復習テスト	
第4回	式の展開・因数分解		多項式と多項式の乗法 式の因数分解						復習テスト	
第5回	1次方程式・2次方程式		1次方程式の解き方 因数分解による2次方程式の解き方						復習テスト	
第6回	2次方程式・連立方程式		2次方程式の解の公式 連立方程式						復習テスト	
第7回	1次不等式・式の変形・方程式の応用問題		1次不等式・式の変形 方程式の応用問題						復習テスト	
第8回	式の値・関数		式の値・比例・反比例・1次関数						復習テスト	
第9回	関数・関数の応用問題		2次関数・関数の応用問題						復習テスト	
第10回	図形の角		多角形の内角と外角・平行線と角・三角形の内角と外角						復習テスト	
第11回	平行線の長さ・円周角		三角形の比・平行線と比・円周角の定理						復習テスト	
第12回	円周角・関数の応用問題		円周角と弧・関数の応用問題						復習テスト	
第13回	図形の応用問題		図形の応用問題						復習テスト	
第14回	論理的応用問題		論理的応用問題						復習テスト	
第15回	試験解答		試験解答 (この授業は最終週に行う)							
評価 方法 及び 評価 基準	<p>授業への取り組み(45%)・前回授業内容の復習テスト(25%)・試験(30%)</p> <p>試験は、数検3級を解く実力を試す問題を出す。試験を受けなかった場合、未履修扱いとなる。</p>									
課題 等	<p>復習テストは採点して返却し、解答を配布する。</p> <p>試験の答えは採点して返却する。</p>									
事前 事後 学習	<p>復習テストで、できなかった問題は復習すること。</p> <p>事前事後学習は3時間程度が望ましい。</p>									
教材 教科書 参考書	<p>『ユーキャンの数学検定ステップアップ問題集 3級 (第3版)』自由国民社(本体1,000円+税) ISBN 9784426609733</p> <p>※ 級を間違えないこと ※(第2版)・(第2版新装版)でも可、授業に使用する部分は同じ内容です。</p>									
留意 点	<p>復習をきちんと理解できないところを残さないようにすること。ほぼ毎回「前回授業内容の復習テスト」を行う。</p> <p>15週目(今年度は1月26日)に試験を行い、最終回に上記第15回の内容を行う予定である。</p>									